



2学期を振り返って

多くの行事や地域の学習、 教室での学びを通じて力をつけました

暑かった8月末、運動会の練習でスタートした2学期も、学習発表会などの行事や、稲刈り、餅つき、カルタ作り、秋探しなどの新庄を知る地域の学習や、教室での国語、算数をはじめとする教科の学習を通じて、たくさんの学びを積み重ねてきて、もうすぐ終業式です。

友達や先生方、中学生や地域の方々から教えられたことが力になっています。「2学期にどんなことを頑張ったかな?」と、お子さんと話してみてください。



人権参観日



1年生の授業



2年生の授業



3・4年生の授業

11月29日(火)に人権参観日を行い、各学年の道徳の授業を参観していただきました。学年に応じてプリントに考えを書いたり、タブレットで意見を交流したり、話し合いをしたりしてしっかりと考えを深めていました。

各教室には子どもたちが作った人権標語も掲示し、小学校での人権学習の様子を知っていただく機会になりました。



5・6年生の授業

小中一貫教育研究発表会

11月22日(火)に小中一貫教育研究発表会を行いました。今年度は異学年交流がテーマで、5・6・7年生の総合的な学習の時間「新庄村の課題を解決するための取組を考えよう」の授業公開と研究協議、岡山大学の高旗先生の指導講評などで、小中一貫教育について研究を深めました。



保小中合同マラソン・駅伝大会

11月25日(金)に保小中合同マラソン・駅伝大会を行いました。

今年は、保小中が一緒に取り組めるよう、「新庄村から新庄川、旭川を下って海まで、100kmを走ろう!」という目標を掲げ、保小中の全員が完走して100kmになるように種目を編成しました。

沿道では村民の方々から応援していただき、無事に全員が完走し、記録を更新する子もたくさんいました。



新庄の木でできた楽器(まるカホン)をいただきました



大槻先生と藤原先生の演奏

11月24日(木)に「まるカホン」という楽器をいただきました。この楽器は、11月3日にふれあい公園で行われた「杜のコンサート」のために、新庄産のヒノキでつくられた特別な楽器です。

コンサートを主催した映像作家支援機構の大西さんと出演された診療所の大槻先生、ヒノキを提供された國六の黒田さんが来校され、3・4年生が受け取りました。大槻先生と音楽の藤原先生が即興で演奏も聴かせてくださいました。

早速、音楽の授業で活用しています。ありがとうございました。

もちつき もち配り

11月17日(木)に今年収穫したヒメノモチを使ったもちつきを全校でしました。6名のボランティアさんに来ていただき、みんなで1000個を超えるお餅を丸めて並べていきました。翌日は袋詰めをしてボランティアや様々な形でお世話になっているの方々へお配りしました。



ランチルームがヒメノモチの加工場になりました



6名のボランティアさん



歯科診療所の金盛先生にもお届けしました

第3回学校運営協議会



第3回学校運営協議会を11月29日(火)の人権参観日に行いました。委員のみなさんに授業参観をしていただいた後、今年度の学校の教育活動全体について評価する「学校評価」を行いました。児童と保護者の学校評価アンケートの結果などを参考に、ご意見をいただき、全体評価はB(おおむね満足できる)としていただきました。

学校評価の詳しい内容は、ホームページで公開します。

中学生と一緒に



2年生はかけざん九九を8年生に聞いてもらいました



3・4年生は新庄カルタを9年生としました



5・6年生はタブレットの健康・安全な使い方を生徒会執行部から学びました

小中一貫校を生かして、中学生といろいろな場面で一緒に学んでいます。お兄さん、お姉さんにちょっと緊張しながら、優しく教えてもらってうれしそうな表情が見られます。

【編集後記】校長室の窓から

新庄小学校でも11月末から風邪や感染症による欠席が多く、ご家庭も大変だったと思います。学校では、感染症対策をしつつ、オンライン授業などでつながることで、なんとか休業せずに教育活動を継続しました。新しい年には流行の波が収まることを祈っています。